

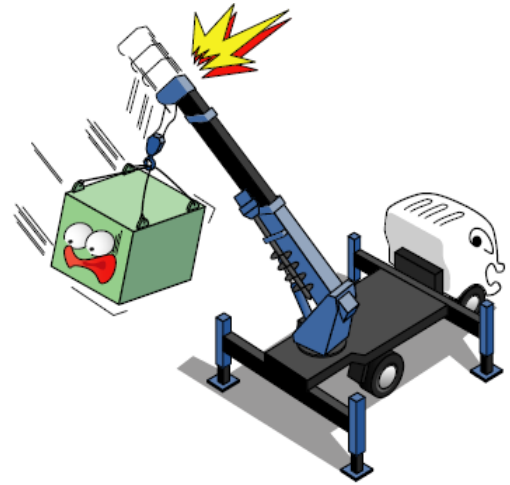
事故事例

ブーム伸長用ワイヤ切断によるつり荷降下事故

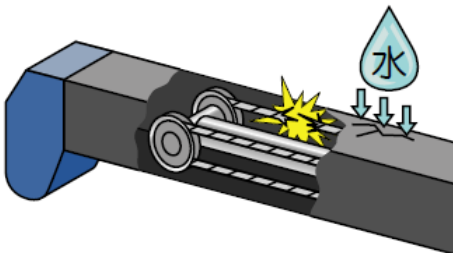
穴掘建柱車

事故発生状況

クレーン作業中、ブーム伸長用ワイヤ切断によりブームが縮小し、つり荷が降下した。



原因



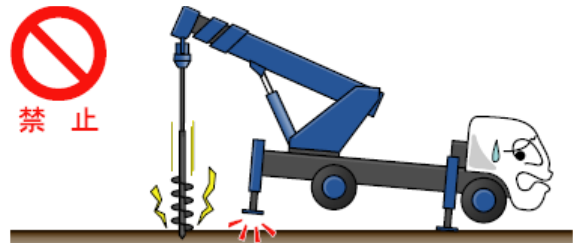
ブーム亀裂部より水が浸入し、伸長用ワイヤロープを腐食させ切断に至ったため。

対策

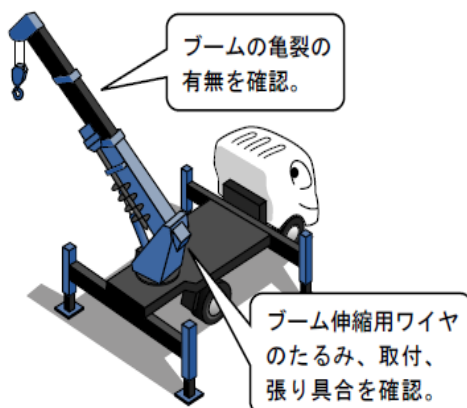
○ブームに亀裂を及ぼす作業を禁止する。

次の作業はブームを損傷させ、事故の原因となりますので行わないで下さい。

- ・必要以上なオーガスクリューの押し込み
- ・オーガスクリューでの斜め掘り
- ・クレーン操作での抜柱作業



○定期自主検査(月例・年次検査)時に当該部位の点検を確実に行う。



◇ブームの亀裂の有無を確認(月例・年次)

目視またはカラーチェックで亀裂の有無を確認して下さい。

◇ブーム伸縮用ワイヤのたるみ、取付、張り具合を確認(月例・年次)

目視、触診で、ブーム伸縮用ワイヤのたるみ、取付状態、張り具合を確認して下さい。

<参考>ブーム伸長用ワイヤは、「定期交換部品」です。

- ・4800時間(4年)【基礎工事に使用する場合は2400時間(2年)】毎にブームの分解点検を行って下さい。
- ・点検時、伸長用ワイヤロープに交換基準を超える異常がある場合には、直ちに新しいものと交換して下さい。